

平成30事業年度

JA赤城たちばなの経営概況

発行 令和元年6月

赤城橘農業協同組合

〒379-1124

群馬県渋川市赤城町滝沢64番地2

TEL 0279-56-4151

FAX 0279-56-4152

目 次

ごあいさつ

1. 経営理念	1
2. 経営方針	1
3. 経営管理体制	1
4. 事業の概況（平成30事業年度）	2
5. 農業振興活動	2
6. 地域貢献情報	2
7. リスク管理の体制	
(1) リスク管理の基本方針	3
(2) リスク管理体制の内容	3
(3) 監査体制	3
8. 法令遵守（コンプライアンス）の体制	
(1) 基本方針	3
(2) 法令遵守の体制	3
9. 金融ADR制度への対応	4
10. 自己資本の状況	4
11. 業務・商品サービスのご案内	5

【経営資料】

I 決算の状況

1. 貸借対照表	15
2. 損益計算書	17
3. 注記表	19
4. 剰余金処分計算書	37
5. 部門別損益計算書	39

II 損益の状況

1. 最近5年間の主要な経営指標	40
2. 利益総括表	40
3. 資金運用収支の内訳	41
4. 受取・支払利息の増減額	41

III 事業の概況

1. 信用事業

(1) 貯 金

①種類別貯金平均残高	42
②固定・変動金利別定期貯金残高	42

(2) 貸 出 金

①種類別貸出金平均残高	42
②固定・変動金利別貸出金残高	42
③担保別貸出金残高	43
④担保別債務保証見返額残高	43
⑤業種別貸出金残高	43
⑥資金使途別貸出金残高	44
⑦主要な農業関係の貸出金残高	44
⑧リスク管理債権の残高	45
⑨金融再生法開示債権の保全状況	46
⑩元本補てん契約のある信託に係る貸出金のリスク管理債権の状況	46

⑪貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	46
⑫貸出金償却の額	46
(3) 為替	46
(4) 有価証券	
①種類別有価証券平均残高	47
②商品有価証券種類別平均残高	47
③有価証券残存期間別残高	47
(5) 有価証券の時価情報等	
①有価証券の時価情報等	48
②金銭の信託の時価情報等	48
③デリバティブ取引、金融等デリバティブ取引、 有価証券関連店頭デリバティブ取引	48
2. 共済事業	
(1) 長期共済新契約高・長期共済保有高	49
(2) 医療系共済の入院共済金額保有高	49
(3) 介護共済の介護共済金保有高	49
(4) 年金共済の年金保有高	50
(5) 短期共済新契約高	50
3. その他事業の実績等	
(1) 購買事業品目別取扱実績	51
(2) 販売事業品目別取扱実績	51
(3) 保管事業収支内訳	51
(4) 指導事業収支内訳	52
IV 経営諸指標	
1. 利益率	53
2. 貯貸率・貯証率	53
V 自己資本の充実の状況	
1. 自己資本の構成に関する事項	54
2. 自己資本の充実度に関する事項	56
3. 信用リスクに関する事項	58
4. 信用リスク削減手法に関する事項	62
5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスク に関する事項	62
6. 証券化エクスポージャーに関する事項	62
7. 出資その他これに類するエクスポージャーに関する事項	63
8. 金利リスクに関する事項	64
VI 連結情報	
1. グループの概況	
(1) グループの事業系統図	65
(2) 子会社等の状況	65
(3) 連結事業概況	65
(4) 最近5年間の連結事業年度の重要な経営指標	65
(5) 連結貸借対照表	66
(6) 連結損益計算書	67
(7) 連結剰余金計算書	68
(8) 連結注記表	69
(9) 連結事業年度のリスク管理債権の状況	78

(10) 連結事業年度の事業別経常収益等	78
2. 連結自己資本の充実の状況	
(1) 自己資本の構成に関する事項	79
(2) 自己資本の充実度に関する事項	81
(3) 信用リスクに関する事項	82
(4) 信用リスク削減手法に関する事項	85
(5) 派生商品取引及び長期決算士官取引の取引相手のリスクに関する事項	85
(6) 証券化エクスポージャーに関する事項	85
(7) オペレーショナル・リスクに関する事項	85
(8) 出資その他これに類するエクスポージャーに関する事項	86
(9) 金利リスクに関する事項	86
財務諸表の正確性等にかかる確認	87
【JAの概要】	
1. 組織機構図	88
2. 役員一覧	89
3. 組合員数	89
4. 組合員組織	90
5. 特定信用事業代理業者の状況	90
6. 地区一覧	90
7. 店舗一覧	91
8. 沿革・歩み	91

ごあいさつ

平素よりJA事業に対し特段のご理解と多大なるご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、農家数や農地の減少、野生鳥獣による農作物被害や相次ぐ家畜伝染病の発生等、また生産現場では労働力不足が深刻化しており、かつてない速度で、我が国の食と地域を支える基盤が弱体化しています。

国際貿易交渉においても、TPP11や日欧・EPAが4月から発効2年目に入り、また米国との新たな貿易協定交渉も始まり、我が国の国境措置は、今後確実に引き下げられることになり国内農業・農村への更なる影響が懸念されるところです。

こうした中、農地を守り地域農業を維持していくため、JAグループでは、第28回JA全国大会において、「創造的自己改革の実践」を主題として「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の三つの基本目標へのさらなる挑戦を掲げ、組合員を巻き込んだ改革に向けて、組合員の声を起点に多様化する組合員や変化するニーズに応えられる事業活動を展開していくこととしています。

当「JA赤城たちばな」としても、今年度を初年度とする「第8次中期計画」を策定し、JA自己改革を实践すべく、「農業」「組合員・地域」「JA経営」の三つを長期ビジョンとして掲げ、3ケ年の具体的な行動計画を策定したところです。

これからも組合員から信頼され必要とされるJAを目指し、組合員や利用者の負託にこたえられる新しいJAの姿を明らかにするために、「JA北群渋川」と合併に向けて研究を深めてまいります。

今年度は、元号も「令和」となり新しい時代の幕開けとなりました。

新元号「令和」には、「美しい調和」という意味が込められております。

これを機に、更なる経営の安定化・透明性に努め、「この地域にJAは必要な組織なんだ!」と言ってもらえるよう、今まで以上に役職員が一丸となって事業展開を行ってまいりますので、組合員皆様には更なるご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

赤城橘農業協同組合
代表理事組合長 萩原 一夫